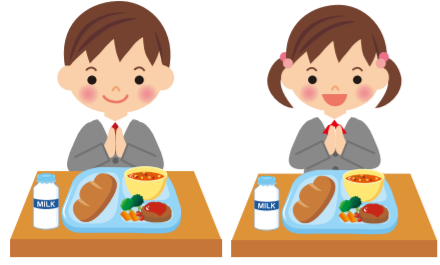


4月「学校給食費の無償化」
全額補助が実現しました。

児童生徒の学校給食がよいよ無償化になります。
令和6年度から学校給食費を全額補助されます。
(区立小中学校の保護者から、徴収をしません)



4月「がん患者へのアピアランスケア
費用助成」を行います。

がん治療に伴う脱毛や乳房の切除によって、ウィッグや胸部補正具を必要とする患者さんの心理的・経済的負担を軽減するために、購入費用の一部が助成されます。
助成額：1個あたり上限3万円(1人最大2個まで)

4月「未就学児全員のベビーシッター
利用が可能に」になります。

対象を未就園児から、保育園等の在園児まで広げ、ベビーシッター派遣による一時預かりサービスの利用料の一部が区から補助されます。
補助額：7:00→22:00 2,500円/時間(限度額)
22:00→7:00 3,500円/時間(限度額)

Home Page Facebook Twitter HOMEPAGE ホームページ
小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト
ホームページ
http://kobayashizenichi.com/
Facebook 「小林ぜんいち」で検索
Twitter 「小林ぜんいち」又は「@koba_zen」で検索

完成 都内初!!

「中野区版 リトルベビーハンドブック」
「親向け交流会」が始まります。



23区初! 両耳対象

8月「高齢者の補聴器購入費用助成」
を行います。

聴力機能低下により、生活に支障が生じる高齢者へ補聴器購入費用の一部が助成されます。
対象:65歳以上の区民で、助成要件を満たすかた。
助成額：1台(片耳分)あたり上限4万5千円(両耳に必要な方は、上限9万円)



小林 ぜんいち
■ 議会役職等
● 公明党議員団 幹事長
● 総務委員会 委員
● 中野駅周辺整備・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会 委員
● 中野区都市計画審議会 委員
● 消防団運営委員会 委員
■ 経歴
● (株) 宮本忠長建築設計事務所
● (有) TAF 設計事務所
● 住宅・教育・医療・福祉・文化・宿泊・耐震等設計監理、専門学校等 講師など
■ 所属団体等
● (社) 日本建築学会正会員
● (社) 東京建築士会正会員
● 福祉住環境コーディネーター協会会員
● マンションリフォームマネジャー
● 日本防災士会会員
● 早稲田大学稲門建築会会員
● 中野稲門会会員
● 中野区長野農人会副会長
● 桃園地区上町町会会長

中野区議会 公明党議員団 中野区中野 4-8-1 TEL.03-3228-8875

小林ぜんいち NEWS

Zenichi Kobayashi



ご挨拶

区民の将来負担増となる区政運営を改め、 区民一人一人の生活が輝く持続可能な区政を

元旦に発生した能登半島地震により亡くなられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、その御家族の方々に対しまして、心よりお見舞いを申し上げます。私も復旧・復興支援に寄り添い、力を注いで参りたいと思います。

中野区では3月14日の本会議にて、中野区令和6年度予算が賛成多数で可決成立しました。一般会計予算は区政初の2,000億円を超える規模となり、事業の見直しが無い中で、事業規模の拡大により経常経費の増大が将来にわたる財政負担となることを危惧し、私たち公明党の2つの意見を含む5つの付帯意見が予算案に対して付されました。(公明党の意見は3面)
新庁舎移転には、建設からシステムの導入、什器備品の購入など、高額な予算が充当されています。今後の区民サービスの低下とならぬよう、また能登半島地震の教訓を防災力強化へと活かすとともに、子育てから高齢者まで多様な区民の中に入り寄り添って日々の健康と暮らしを守り、将来の見通せる区政となるよう尽力してまいります。

小林 ぜんいち



KOMEI TO 公明党
第42号
2024年4月発行
中野区公明党議員団

令和6年第1回定例会 一般質問



(2024.02.14一般質問)

一般質問 項目

- 震災・防災対策について
- 区長の施政方針説明について
1) 施政方針説明について
2) 予算編成方針の成果について
3) 新庁舎移転について
- 不登校対策について
- その他
1) 民生児童委員の活動費について
2) 文化財と歴史的価値の基準について



小林ぜんいち 令和6年(2024年) 第1回定例会 一般質問から抜粋

能登半島地震から震災・防災対策を見直し

小林 元旦に起こった能登半島地震と同規模の地震が中野区に発生した場合、初動時の態勢や被害想定などの検証を区は改めて行ったのか。

区長 区の情報連絡態勢や災害対策用資機材の見直しを図り、備蓄物資の充実についても検討している。

小林 震災で明らかになった区の課題と今後の対応策を、いつ地域防災計画へどの様に盛り込むのか。

区長 国から新たな対策などが示された場合は、第44次修正以降の計画に反映させていく。

小林 災害時に近隣住民の一時の避難先となるような地域貢献の建物制度を作るべきである。また、今後建てられる集合住宅などに地域防災力の向上を図るようインセンティブを付与した「地域貢献避難可能施設」を設けてはどうか。

区長 他自治体の事例などを参考に検討していく。

施政方針説明を問う

小林 令和6年度に、高齢者の補聴器購入費用助成と難聴への社会啓発を行うべきではないか。

区長 令和6年度より一部助成を開始する予定であり、難聴に関する正しい知識の普及や啓発にも努めていく。

小林 町会活動加入促進に資する助成金の増額と、広報活動の大きな役割を果たす掲示板の新設、取り替えに更なる助成を行うべきではないか。

区長 加入促進にかかる助成を拡充する。また、掲示板の新設及び更新の費用助成額を上げ、継続的な事業として実施していく。

小林 財政的には調整税等の増収、国庫支出金、基金繰入金など歳入の増ばかりで、歳出では減が見られず、むしろ前年度を上回る予算となっている。現下は、基金に積み立てる時期なのではないか。

区長 定額減税の影響もあり、財政調整基金を繰り入れ、一部の基金には積み立てができていない。

小林 今後の基金積み立てをどのように考えているのか。

区長 今後の施設整備を踏まえ、必要な基金積み立てに努める。

小林 繰入金と公債費に頼らざるを得ない予算編成に問題はないのか。

区長 新庁舎移転や、新たな行政需要等への対応を図るため、基金や起債を活用しながら予算編成を行った。

特別区税を上回る繰入金、区債、公債の状態は、今後もしばらく続くのか。

区長 経済成長率の予測では、特別区税収入の伸びが見込まれているが、収入の確保、歳出の削減に努めつつ、基金繰入金と起債を有効にバランスよく使い、行政課題に適切に対応していく。

小林 令和5年度予算で経常経費が大きく増加したことは、将来の財政運営の足かせになるのではないか。

区長 将来の持続可能な財政運営を確立していくため、効率的、効果的な事業展開に取り組んでいく。

新庁舎移転を契機に導入するシステムを問う

小林 経常経費化されるデジタルシフトによるメンテナンス費用を示すとともに、増大する費用の見解を問う。

区長 デジタルシフトに伴う経費はしっかりと精査し、費用対効果を踏まえた適切な経費を見込んでいく。

小林 新庁舎の窓口サービスの向上など、デジタル投資に伴うランニングコストの増加に対し、新庁舎における人件費等の経費削減と、成果報告をどのように示す考えなのか。

区長 区民サービスをどのように向上させられたか、事務の効率化がどれだけ図れたかについて効果検証していきたい。

小林 新庁舎移転にかかわる評価は、通常の業務ごとに行う行政評価ではなく、DXの評価を新庁舎移転全体について別建てで評価検証すべきではないか。

区長 PDCAサイクル等により対応を図っていく。

起立性調節障害へ正しい理解の促進を

小林 不登校の中には、起立性調節障害と診断される児童・生徒がいる。区及び区立小中学校の認識を問う。

教育長 朝の不調が不登校の初期症状と似ているため周りに正しく理解されないことがあると認識している。

小林 児童・生徒、家族への対応をどのようにされているのか。

教育長 遅刻や欠席が増えたり、体調不良が続いたりする場合は、起立性調節障害の可能性も含めて、保護者に丁寧に説明している。学習については状況に応じ、一人ひとりに合わせた支援を行っている。

